

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	3-2-2		事業名	風力発電事業性評価業務
担当	環境局環境都市推進部新エネルギー政策課 竹内 211-2872			
全体計画（当初）				
事業内容	札幌市の環境保全並びに新エネルギーの導入を促進するため、本市における風力発電事業の実施可能性を評価し、事業の実施形態がどうあるべきか検討する。 具体的には、基礎データの取得を目的とする風況調査とシミュレーションによる事業性評価を実施し、これらに基づき、本市における風力発電設備導入の考え方を整理するものである。		＜年度別の事業内容＞	
			平成16年度 風況調査：通年の風況データ取得 事業性評価：取得データによる仮想的な経済性等の評価	
事業内容（量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）	
	<p>風況調査 実施期間：平成16年9月22日～平成17年3月31日 観測場所：手稲区手稲山口323-1 観測内容：地上高20・30mにおける平均風速他全8項目 事業性評価 経済性の評価：複数の事業形態について、経済収支を算出 環境保全効果の評価：設備規模4段階での評価 風力発電導入の考え方の整理 札幌市での風力発電事業の実施にあたり、実施までの検討フロー及び想定される課題・調整事項について概要整理（事業性評価、課題整理について、庁内検討会議を組織）</p>		<p>風況調査 実施期間：平成17年4月1日～平成17年9月30日 観測場所：手稲区手稲山口323-1 観測内容：地上高20・30mにおける平均風速他全8項目 事業性評価 経済性の評価：事業規模・事業形態別に経済収支を算出 環境保全効果の評価：事業規模別にCO2削減効果を整理 風力発電導入の考え方の整理 札幌市での風力発電事業の実施にあたり想定される課題・調整事項について整理 野鳥生息調査 風車建設による環境影響評価の一環として実施（冬季調査）</p>	
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）	
	<p>野鳥生息調査 風車建設による環境影響評価の一環として、野鳥生息調査（春季調査）を実施、 具体事業の調整 風力発電事業の実施について関係者調整を進めた。</p>		<p>本業務の成果として、本市における風力発電事業実施の可否を判断し、今後の事業展開の方向性を示した。 なお、具体的な事業実施手法を「官民連携事業」とすることとし、調整段階に進んでいる。</p>	
		課題		
		<p>風況調査および事業性評価の結果では、調査地での風力発電事業実施は採算ライン付近にあると判断される。 事業規模、電力会社の系統連系条件等によっては、事業による採算を確保できない可能性があり、より適切な実施内容（規模・時期等）を見極める必要がある。</p>		
19年度以降の方向性・事業の予定				
<p>風力発電事業の実施を目指し、具体事業について関係者調整を進める。 事業の実施主体となることを希望する民間事業者を公募し、選定された事業者と市の連携により事前調査等を実施し、事業計画の精度を高める。</p>				

